



平岡通信

EST. 1966

発行 校長 宮井 信孝
NO.4 令和8年6月30日

堺市立平岡小学校

〒593-8305

堺市西区堀上緑町 1-6-1

TEL 072-271-5044

FAX 072-271-5047

hiraoka-e@sakai.ed.jp

<http://www.sakai.ed.jp/hiraoka-e>

令和8年度 学校教育重点目標

何にでもチャレンジ！何度でもチャレンジ！笑顔でチャレンジ！平岡っ子！

－失敗も楽しんで 何にでも挑戦してみる子－

ありがとう！

6月最初の全校朝礼でもお話したし、2年生以上の人たちには昨年度も話していますが、この平岡通信でももう一度話したくて、今回書くことにした「ありがとう」ということ。まずは、復習問題になりますが、「ありがとう」の反対の言葉は？「ごめんなさい」かな？「すみません」かな？国語辞典では反対の言葉はないそうですが、仏教という世界では「あたりまえ」という言葉が反対の意味を示すそうです。「ありがとう」という言葉を漢字で書くと「有難い」となり、有ることが難しいということになります。それに対して「あたりまえ」という言葉は、いつもそこになって「当然のこと、普通のこと」という意味で、こうしてみると反対の意味というのも納得できると思います。



5月の後半から校長先生は急に入院することになって、この「ありがとう」と「あたりまえ」という言葉の意味をしみじみと感じさせられることになりました。校長先生は実は先生になってから一度も病気で休んだことがなく、毎日、学校に来るのが「あたりまえ」、みんなに会えるのが「あたりまえ」、学校でいろいろなことを楽しめるのが「あたりまえ」と思っていました。ところが急に入院することになり、今日から学校に行くことができない、みんなに会うことができない、学校でいろいろなことを楽しむことができない日々が続きました。本当に辛くて悲しかったです。そして改めて、いつもは「あたりまえ」と思っていることがどれほどありがたいことなのか感じました。「朝ごはんを食べられること」「学校に行くことができること」「友だちと一緒に勉強したり遊んだりできること」毎日の生活のすべてが考えてみれば、すべてありがたいことなのかもしれません。



退院後、また、毎日学校に来ることができるようになり、みんなに会うことができるようになり、学校でいろいろなことを楽しむことができるようになり、あたりまえの生活が戻ってきました。でも、今はあの「あたりまえ」があたりまえではなく、「ありがたい」ということを実感していて、一日一日を、さらには一時間一時間を、もっといえば、一瞬一瞬を「ありがたい」と感じて、過ごすようになりました。でもこれもしばらくして「あたりまえ」になってくると「ありがたさ」を感じなくなってしまうかもしれませんが、こうして言葉にして残していくことで、いつも「ありがたい」と感じられる人でありたいなと思っています。



7月主な行事予定

1	水	学校徴収金引き落とし日 全市一斉登校指導
2	木	なかよし集会
7	火	4時間学習 下校13:00 個人懇談会
8	水	1・2年着衣水泳 4時間学習 下校13:30 個人懇談会
9	木	3・4年着衣水泳 4時間学習 下校13:00 個人懇談会
10	金	5・6年着衣水泳 4時間学習 下校13:00 個人懇談会
12	日	0-157 堺市学童集団下痢症を忘れない日
14	火	5年生産体験
16	木	給食終了 大掃除 下校13:45
17	金	終業式 下校11:40
20	月	海の日
21	火	夏季休業開始(～8/24)
23	木	ハギハッキョ
24	金	ハギハッキョ

8月主な行事予定

1	土	平岡校区サマーフェスティバル(17時～)
10	月	学校閉庁日(～17日)
11	火	山の日
20	木	ワールド子どもの集い
25	火	始業式 3時間学習 下校11:40
26	水	3時間学習 下校11:40 夏休み作品展(1～3年)(放課後:保護者)
27	木	給食開始 4時間学習 下校13:30 夏休み作品展(4～6年)
28	金	4時間学習 下校13:30
31	月	通常学習開始

